こども・専門講座６

講座№1６306

**＊**

**＊**

**関係を育てる心理臨床**

～子どもと遊び、親の話を聴くこと～

この両者をどのように連動させるか

**＊**

**＊**

本講座は臨床心理士資格更新のための研修ワークショップとして要件が満たされた場合、日本臨床心理士資格認定協会へ申請予定です。　承認された場合はホームページに掲載いたします。

**期　　日：２０1６年１0月１５日（土）～１６日（日）**

**対　　象：臨床心理士・看護師・保健師・保育士・相談員・教師など、医療や福祉・教育・相談・**

**子育て支援などに携わっている専門家、大学院生、および関心のある方々**

**定　　員：6０名**（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

**受講料：１２,０００円**（税込み）※ 昼食は各自でお手配ください

**主　　催：公益財団法人　明治安田こころの健康財団**

**会　　場：明治安田こころの健康財団 講義室**※ 詳細地図は受講証に添付いたします

**東京都豊島区高田３-１９-１０　  03-3986-7021**

ＪＲ山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

**＊＊＊**企画講師（敬称略）：田中 千穂子 ／ 花クリニック　臨床心理士、文学博士**＊＊＊**

**人の成長発達を関係性という視点から捉える、という試みでこの講座をスタートさせて10年目を迎えました。毎年、私自身の講義と、みなさまから出していただいたケースを一緒に検討してゆくというスタイルで行っています。今年は子どもの心理臨床の基本にもどって、セラピーの中で起こっていることを、ていねいにみてみようと考えました。**

**子どもの心理治療では一般的に、子どもに対してはプレイセラピーで対応し、親並行面接を伴走させます。一体子どもと「遊ぶ」、「プレイセラピーをする」というのはどういうことなのか、遊びのなかから何がわかるのか、何をどう読みとってゆくのか、そしてどのように動いてゆくのか、動かしてゆくのか、がセラピーでの課題となります。その一方で、親面接すなわち親の話を聴くということは、どのように聴き、どのようにしてゆくとよいのか、ということが課題です。そしてこの両者が車の両輪となって機能すると、子どもの問題が改善したり、状態が回復したり、よりよく機能する家族になるなど、よい方向への変化が起こります。うまくいっているケースでは、どちらが先ということではなく、互いに呼応しあうように進みます。もちろん両者がうまく連動しえない場合もあり、その要因の改善がむずかしい場合には、片方だけで踏ん張るセラピーとなります。**

**私たちがもっとも多く具体的に学ぶことができるのは、実際のケースからです。そこで講義では、自分が実際に関わっているケースから、セラピーで起こっていることを私なりにどのように読みとって関わっているのか、ということをお話したいと考えます。そして今年も、セラピストが悩んだり迷ったりしながら歩んでいるケースを募集します。それをもちよって、みんなでどのように理解し、対応していったらよいか、何ができるのか、考えてみたいと思います。**

**≪田中　千穂子≫**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| *プ*  *ロ*  *グ*  *ラ*  *ム* | 日 程 | 時　間 | テ　―　マ |
| 10月１5日  （土） | 13:00～17:30 | 初日も２日目も、私自身が考えていることを講義として提示しつつ、提出していただいたケースを織りまぜながら進めてゆきたいと考えています。 |
| 10月１6日  （日） | 9:00～12:00 | 同　 上 |
| *12:00～13:00* | *昼　　食（各自でおとりください）* |
| 13:00～16:00 | 事例検討・講義ほか |

※ 講義の途中、１～２時間の単位で、適宜休憩時間を入れます。

※ 事例の提出締切は9月15日（木）です。用紙につきましては、HPの申込書欄から取りだせます。

　ご不明の点は、事務局にお問い合わせください。